

4 推奨樹種リスト

推 奨 樹 種 リ ス ト

- ・当リストは、小笠原島内で現に生産されているもの、又は今後生産が見込まれる樹種の中からリスト化したものであり、学識経験者の意見を踏まえ、小笠原固有の生態系に悪影響を及ぼさないものを幅広く選定し、景観上の選択の自由度が広がるよう配慮したものである。
- ・当リストは、現時点（平成26年度）の情報に基づく評価結果であり、今後の研究や状況の変化などを踏まえ、適宜追加・削除などの見直しを行う。
- ・樹種の使用に当たっては、全て島内で生産されたものを使用すること。

優先度	和名	科名	原産	園芸種	広域種	固有種	樹種分類			利用用途				利用可能エリア		コメント
							高木	中木	低木	街路樹	公園樹	生垣	河川	景観形成特別地区	左記地区以外(母島も含む)	
1 (※1)	オオギバショウ	オオギバショウ	マダガスカル	○			○			○	○		○	○	侵略性は低いので利用可能である	
	オオバナカリッサ	キョウチクトウ	南アフリカ	○				○		○	○		○	○		
	カンヒザクラ	バラ	台湾、中国	○			○			○	○		○	○		
	菊池レモン(島レモン)	ミカン	インド北部	○				○		○		○	○	○		
	クロトン	トウダイグサ	マレー半島	○				○		○	○		○	○		
	ゴールデンシャワー	マメ	インド	○			○			○	○		○	○		
	ココヤシ※4	ヤシ	熱帯アジア	○			○			○	○		○	○		
	コパンノキ	トウダイグサ	南洋諸島	○				○		○	○		○	○		
	ゴレンシ	カタバミ	熱帯アジア	○			○			○	○		○	○		
	サンカクヤシ	ヤシ	マダガスカル	○			○			○	○		○	○		
	サンダンカ	アカネ	中国南部	○				○		○	○		○	○		
	ストレチア	バショウ	南アフリカ	○					○	○	○		○	○		
	デイゴ(ビーデビーデ)※4	マメ	インド	○			○			○	○		○	○		
	トックリヤシ	ヤシ	モリヤシ・マカシ諸島	○			○			○	○		○	○		
	トックリヤシモドキ	ヤシ	ロドリゲス島	○			○			○	○		○	○		
	トックリラン	リュウゼツラン	メキシコ	○				○		○	○		○	○		
	ドラセナ レフレクサ	リュウゼツラン	マレーシア	○				○		○	○		○	○		
	ハイビスカス	アオイ	インド、ハワイ、中国南部	○				○		○	○		○	○		
	バキラ	バンヤ	メキシコ	○			○			○	○		○	○		
	バナナ	バショウ	熱帯アジア	○				○		○	○		○	○		
ブーゲンビレア※4	オシロイバナ	南米	○						○	○		○	○			
ブルメリア	キョウチクトウ	メキシコ	○			○			○	○		○	○			
ホウオウボク※4	マメ	マダガスカル	○			○			○	○		○	○			
ポリシャス	ウコギ	ニューカレドニア	○				○		○	○		○	○			
マニラヤシ	ヤシ	フィリピン	○			○			○	○		○	○			
マンゴー	ウルシ	インド	○			○			○	○		○	○			
レイシ	ムクロジ	中国	○			○			○	○		○	○			
2 (※2)	イソフジ	マメ	小笠原(東南アジア)		○			○			○		○		地域性系統(※3)を用いるのであれば、景観形成特別地区では利用可能である(在来種においても、地域性系統を確認した上で利用する)	
	オガサワラピロウ	ヤシ	小笠原			○	○			○		○				
	クサトベラ	クサトベラ	小笠原(オーストラリア)		○					○			○			
	グンバイヒルガオ	ヒルガオ	小笠原(東南アジア)		○					○			○			
	セボレーヤシ	ヤシ	小笠原			○	○			○			○			
	センダン	センダン	小笠原(東インド)		○		○			○	○		○			
	タイワンハマオモト	ヒガンバナ	小笠原(東南アジア)		○					○	○		○			
	タコノキ※4	タコノキ	小笠原			○				○	○		○			
	テリハボク(タマナ)※4	オトギリソウ	小笠原(太平洋諸島)		○		○			○	○		○			
	ハスノハギリ	ハスノハギリ	小笠原(西インド諸島)		○		○			○	○		○			
	ハマゴウ	クマツヅラ	小笠原(東南アジア)		○					○	○		○			
	モモタマナ	シクンシ	小笠原(太平洋諸島など)		○		○			○	○		○			
	モンパノキ	ムラサキ	小笠原(東南アジア)		○					○	○		○			
	ヤエヤマアオキ	アカネ	小笠原(太平洋諸島)		○		○			○	○		○			
	オオハマボウ	アオイ	小笠原(沖縄)		○		○			○	○		○			
	シマカナメモチ	バラ	小笠原(東アジア)		○					○	○		○			
	シマザクラ	アカネ	小笠原			○				○	○		○			
	シマチャリンバイ	バラ	小笠原(東アジア)		○					○	○		○			
	シマモクセイ	モクセイ	小笠原(東アジア)		○		○			○	○		○			
	ムニンアオガンビ	ジンチョウゲ	小笠原			○				○	○		○			
ムニンシャシャンボ	ツツジ	小笠原			○				○	○		○				
ムニンヒメツバキ	ツバキ	小笠原			○				○	○		○				
ヤロード	キョウチクトウ	小笠原			○	○			○	○		○				

※1 ・母島への島外からの土つき植物の持込みは、イエシロアリや天然記念物の固有陸産貝類を捕食し生息を脅かすニューギニアヤリガタリクズムシ等プラナリア類の侵入を防止するため不可
また、父島から母島への植栽用樹木等の持込みは、イエシロアリ等の母島への侵入防止に関する条例(平成10年 小笠原村)で禁止されている。

※2 ・景観形成特別地区内においても、山地では、適切な管理が行き届かず、種子の拡散による遺伝子交雑を引き起こす可能性が高いため、利用は不可
・原産地に括弧書きが付いているものは、在来種である。

※3 ・地域性系統とは、植栽予定地の近隣の野生個体群から採取した種子を用いた(又は挿し木によって増やした)種苗である。同一の島であっても、離れた場所(例えば母島北部と南部)は遺伝的に分化している可能性があるため使用しない。
また、父島で栽培されている個体であっても、その由来が分からない場合は地域性系統という保証はないので、使用しない。
(例えば、父島で栽培されているピロウは父島由来のものではない可能性が高いため、地域性系統とは言えない。)

※4 ・小笠原まちなみ景観ガイドライン、東京都景観計画(小笠原景観形成特別地区)において、特に小笠原らしい植物としてあげられているもの